



Weekly Report

NO.1189 平成 25 年 06 月 11 日

小諸浅間ロータリークラブ

◆例会日/週火曜日 12:30~13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 2階
TEL 0267-23-8125 FAX 0267-23-2788

2012-2013 役員

◆会 長 / 黒澤 明男 ◆副 会 長 / 小林 秋生
◆幹 事 / 西川 宏 ◆広報・情報委員長 / 橋詰 希望



- ◆点鐘 黒澤 明男 会長
- ◆SAA 清水 良英 委員
- ◆ソング 奉仕の理想
- ◆ゲスト 松田好功様
八十二銀行小諸支店長
- ◆ビジター 荻原雅隆君(小諸)
鈴木直巳君(小諸)

【会長挨拶】 黒澤 明男 会長

去る6日に小諸クラブ次期会長白井正道様のご逝去なされました。謹んで哀悼の意を表し、白井様のご冥福を心よりお祈りし、お悔やみ申し上げます。

本日のプログラムは八十二銀行執行役員、小諸エリア長、小諸支店長、松田好功(よしのり)様による「今後の経済の見通し」についてです。我々、小諸を基盤として企業に携わっている者にとって、この地域経済を一番知っている支店長の話は身近な興味深い卓話と思います。しっかりと拝聴し学習いたします。よろしく願います。

初対面の人と名刺交換する際、日通さんとどんな関係？どのような間柄？資本が入っていますか？取引量は多いのですか？などの質問があります。会員の皆様もそんな疑問？があるのかと思い、「通運」という言葉、内容について話させて頂きます。

「通運」という言葉はかなり古くから使われており、江戸時代の飛脚問屋はすでに用いていたといわれています。この「通」という字は、「とどこおりない」という意味で、例えば通訳、通商、通信などと同じ使い方、したがって通運という言葉は「とどこおりなく運ぶ」ということです。

江戸時代からあった飛脚、船、牛馬によ

って物資輸送が明治以降、さまざまな変遷を経て、郵便事業、貨物運送事業と区分された制度やシステムが作られました。特に明治5年に鉄道貨物輸送事業が登場し、急速発展すると長距離道路輸送は衰退してゆきます。これは鉄道と牛馬車では生産性があまりにもかけ離れているので勝負にならなかったためです。そこで運送業者は必然的に長距離輸送を鉄道に譲り、鉄道の貨物輸送を各駅において集荷する形で、鉄道業務を補完する小運送業に転身することで活路を見出していくことになるのです。その後、各駅において乱立、不当競争をしていた運送業者を集約、廃止などするよう鉄道局から最終的対策として、一駅一店舗制による各駅合同の断が下されたが、合同について大都市はうまくいったが地方は期待通りにいきませんでした。

昭和6年の満州事変をきっかけに、日本は軍事国家へとまっしぐらに進んで行く中で、これまでに公認制度によっても、また指定制度によっても運送事業者の秩序が確立することが出来なかった鉄道省は新たに昭和11年、小運送に関する統制要綱(免許制の実施と統括会社の設立)を鉄道大臣に答申しました。

統括会社は半官半民として設立するというものでした。鉄道省は昭和12年、日本通運株式会社法案を提出し、衆議院、貴族院の審議を経て統制要綱が公布され、従来自由に開業できた小運送業を免許制にし、その乱立を防止するとともに、日本通運法により小運送業の全国的な統括と統制を図り、戦力の増強や輸送力の拡大がますます切実な課題になっていることへの改善策でした。小諸、佐久地区でも鉄道省

や軍部の後押しで、日通に統合合併勧奨が強化されましたが、「日通への統合が却って、小運送力を低下させるもので、絶対に行うべきではない」「全国を無原則的に日本通運へ統合することは合理的ではない」という意見などで抵抗し、当地区の小運送業者の統制による大政翼賛会的統合合併は実行されることには至りませんでした。他地域でも同様な事態が散在しました。

地区通運としての佐久通運は昭和17年12月小諸、南北佐久の13小運送業社・14駅の合併で設立され、その後4業社・3駅が加わり17業者、17駅でのスタートとなりました。

当時のエリア

小海線<小諸～野辺山駅の各駅>
 信越線<御代田、追分、滋野>
 鉄道便駅<芦田、望月>

また、軽井沢地区は軽井沢通運が中軽井沢駅と軽井沢駅を中心とした通運会社を設立。結局、通運称号の会社のほとんどは日通の資本は入っていません。取引は貨物輸送の時代は日通元請の貨物(政府米、葉タバコ、ビールなど)についてありましたが現在は皆無です。関係は(通)マークで業務を行っている会社の団体、全国通運連盟に加入しているだけでほとんど付き合いがない現状です。

【幹事報告】 西川 宏 幹事

- 2600 地区青少年交換委員会より
2014～2015 年度国際ロータリー
交換学生募集について
- 佐久RCより創立 35 周年記念式典
出席、礼状
- 国際ソロプチミスト小諸より
チャリティーゴルフ大会、礼状
- 週報
上田東、東御RC

・来週 6 月 18 日(火) 青空例会(飯綱山公園草刈り) 現地集合 11:30 鎌、草刈り機等 ご持参下さい。雨天の場合は(10:30 までにFAXで連絡) 定例とおり、例会場で行います。

・例会終了後理事会

本日の配布物
 週報 1188 号
 ロータリーの友 6 月号
 2013～2014 年度上半期プログラム予定表

【委員会報告】

クラブ広報・情報委員会

橋詰 希望委員長

ロータリーの友 6 月号紹介

◆ラッキー賞

NO.15 荻原 雅隆君

◆ニコBOX 青松 英和 委員

荻原 雅隆君	ラッキー賞ありがとうございました。
青松英和君	日頃の度々の欠席をお詫び申し上げます。
黒澤明男君	松田支店長の卓話、楽しみにそておりました。
黒田説成君	小諸 C より卓話の依頼を受けましたが、何とか勉強して遠い将来に実現したいと思います。
桑原邦夫君	
小池平一郎君	来週飯綱山の草刈り委員長ながら欠席致します。よろしくお願い致します。
神津恭通君	松田支店長さんお忙しいところありがとうございます。今日は卓話を楽しみにしております。
中河邦忠君	草刈例会欠席のお詫びに。
西川宏君	先週の会長・幹事会に代理出席ありがとうございました。
前田博志君	だんとさんにバラ見に来て下さい。

「今後の経済動向について」

八十二銀行 小諸支店長
松田 好功様

1. 「アベノミクス」の(中間)評価

- (1) 「三本の矢」の効果は？
- (2) そもそも「デフレ」は深刻だったか？
- (3) 「金融緩和」による「インフレ」効果は？

2. 為替相場について

- (1) 輸出が冴えないのは「円高」のせいか？
- (2) 「購買力平価」で見れば・・・



3. 「不確実な将来」と「確実な将来」

4. 「確実な将来」・・・人口減少と超高齢化社会

- (1) 人口は 20 年間(2010～2030 年)で、1,300 万人減少する
- (2) 高齢者数(65 歳以上)は 20 年間(同上)で、700 万人増加する
- (3) 高齢化率は 20 年間(同上)で、23%→32%に跳ね上がる

5. 「不確実な将来」を憂うよりも「確実な将来」への備えを！

6. キーワードは「高齢者」と「子供」

来週のプログラム : 青空例会 飯綱山公園草刈り

【出席報告】 前田 博志 委員

	会員数	出席	M・U	欠席	出席率
本日 6月11日	24	22	事前(0)		91.67%
前々回 5月28日	24	22	事後(1)		修正 91.67%